

# 仲間の輪

癒しの音色が仙台から広がる  
ハープは想像以上に親しみやすい楽器

グレースハープ



代表の二瓶さんを中心に仙台スタッフ、講師と生徒の皆さん。生徒さんは現在180名近く。最近ではお子さんや男性の姿も多く見られるようになったといか

仙台でハープが楽しめる教室があるのをご存じだろうか。仙台市地下鉄広瀬通駅すぐ近くにあるグレースハープ。扉を開けるとズバリと並んだハープが迎え入れてくれる。ハープというと、オーケストラの楽器だったり、ギリシャ絵画に描かれていたり、優雅で手の届かない楽器というイメージが強い。「そうでもないですよ。海外ではTシャツに短パンというスタイルで、胸元に抱えて屋外で軽快に演奏している人もいます」と話すのはグレースハープ代表の二瓶佳子さん。「弾くのも決して難しくありません。初めてハープに触る方でも、30分のおためしレッスンで『さらさら星』を弾けるようになっていただいています」

二瓶さんは、ビジネスの勉強のために留学したカナダでハープの魅力を知り、習い事として始めたそう。帰国してからは習えるところがなく、それどころか楽譜も、ハープそのものもなく、あちこち探し回ったという。ようやく習える場所を見つけ、貿易の会社を立ち上げる傍らハープ演奏を楽しんでいた。

やがて二瓶さんは、日本でハープを購入しようとしたときに、思いのほか苦労した経験から「多くの人が気軽にハープに親しめる環境を作る仕事をしよう」と思い立った。当時

は、楽器制作工場を探すためにアメリカ、スイス、パキスタンなどに出向いたそう。最初は神奈川で開業していたが、ネット販売を手掛けるうち、ハープを楽しむ人が多い仙台に2010年に進出、ハープの教室と販売店を開いた。そして翌年の震災。

「自分も講師たちもみんな心が折れました。もうダメなんじゃないかって」。しかし、生徒さんからの「こんなときだからこそハープを弾きたい」「いつ教室を再開するんですか」の声に後押しされ、翌年4月に再開。「生徒さんのおかげでやり直せたようなものです。ほとんど拠点を仙台に移し、仙台からハープを全国に広めていこうと心に決めた。

「1曲できるようにになると次はこの曲、その次は、と欲がでるんですよ」と、ハープ歴2年あまりの安田井久子さん。憧れていたハープを習い始めた「完全にはまった」。レッスンはマンツーマン。周りに気兼ねなく自分のペースで進められる。「基本はきちんと押さえますが、好きな曲を演奏していただいて、生徒さんの夢を叶えるお手伝いがしたいんです」と講師の大學睦美先生。遠方からの生徒さんのために短期集中レッスンも行っている。年に一度の発表会に参加することで、皆さんモチベーションがぐんとあがるそう。

一人でも多くの方が近くでレッスンをできるようにしたいと、7月26日からは岩手県に一関校を開校する。ハープの癒しの音色はまだまだ広がり続ける。

取材・文／吉田由香 撮影／鈴木江美



流れるような美しい指の動きには、やはり基本が大事。「けれども楽しくないと続きませんから、練習ができてないと次の曲に進めないということはありません」



基本レッスンは40分。毎回盛り上がり「楽しい」と皆さん笑顔を見せる



時間があればプライベートでもハープを楽しむという二瓶さん



ハープは作られている木によって音色が違う。「楽器が持ち主を選ぶ」ともいうそう



毎年秋に開催される発表会の際は海外のアーティストや関係者も来日する。人に見られることで練習にも身が入る(グレースハープ提供)



人気の曲はジブリや「主よ、人の望みの喜びよ」など

ハープを持っている方には基本的な取り扱いや手入れ法などをきちんとお伝えする。「自分の楽器ですから、調律なども自分で行うようにお教えしています」



ハープはスクールのものを使用するので、手ぶらで通える。36弦のハープを使ってレッスン



ドレミファソの順に弦が色分けされて並んでるので、初心者でも弾きやすい



最初は楽譜も少なかったのですが、たくさん曲に触れることができるようにとオリジナルの楽譜を作ったり、輸入したりしている



アイリッシュハープはレバーを操作して音の高さをコントロール。その面白さが病みつきになる方も

仙台市青葉区中央 2-11-22  
齋藤ビル 3F  
TEL.022-398-6550  
問合せ受付時間 10:00 ~ 18:30  
※おためしレッスンは随時受付  
30分 1,000円  
入会金 6,000円  
レッスン月謝  
月2回コース 8,000円  
月4回コース 15,000円